



水稻編



病害虫注意報 2019年9月号

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

刈り取り後の除草

刈り取り跡に雑草が生えている田んぼは、今しっかり防除を行うことで次作が楽になります！

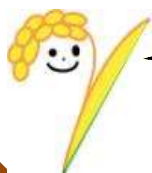


薬剤名	特徴	使用方法	おすすめ
<p>次作までに時間がある場合</p> <p>カレートS</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・適用： 一年生雑草 多年生イネ科雑草 ・稲わらの上からでも効く ・水が溜まっている所では効果半減 ・次作植付まで3カ月程度期間をあける 	<ul style="list-style-type: none"> ● 禾ダカ 30～40kg（6～8袋）/10a ● 一年生雑草・多年生イネ科雑草 20～25kg（4～5袋）/10a <p>水稻刈取後全面土壌散布（秋期雑草生育期） ※回数制限なし</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・禾ダカ防除には刈取後すぐの散布が効果的！ ・散布は年内に ・降雨時（降雨が予想される時）は散布しない（効果の減弱、河川への流出を防ぐ）
<p>次作までに時間がない場合</p> <p>ラウンドアップマックスロード</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・適用： 一年生雑草・多年生雑草 ・ヒ、セリ、カゲワ、禾ダカ、ヤツリグサなどの防除困難な雑草に！ ・土に残らず分解が早い 	<p>薬剤 500～1000ml/10a （希釈量10aあたり通常50～100ℓ、少量25～50ℓ）</p> <p>雑草生育期 （水田刈跡/1回）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・雑草が緑化している時期に散布 ・刈取直後 薬剤 500～1000ml、もしくは、3～4月の水田耕起前 薬剤 200～500mlがおすすめ

刈取後のジャンボタニシ（スクミリンゴガイ）防除

- ①湛水状態3～4cmを1～4日続ける（水温15℃以上）。
- ②ジャンボタニシが活動を始めたら、粒状ペルカ（石灰窒素）20～30kg/10aを散布する。
- ③3～4日湛水状態で放置してから自然落水する。

※石灰窒素は河川などに流出、飛散しないよう注意して下さい。



1月上旬～2月上旬に耕起すると、貝が潰れることでの物理的な殺貝効果だけでなく、残った貝も寒気に曝されることで死滅します。冬場の耕起は1回だけでなく複数回おこなうと殺貝効果さらにアップします↑↑

稲ワラの腐熟剤

分解を早め、浮きワラ軽減・ガス害防止に！

粒状ペルカ（石灰窒素）20kg（1袋）/10a

★刈取後、すき込むことにより、稲わらを土中で堆肥化することが可能！
堆肥同等の貴重な地力栄養資源として活用できます★